



CIGRの概要 **国際農業工学会**

**International Commission of
Agricultural and Biosystems Engineering**
Commission Internationale du Génie Rural

2024年12月

日本学術会議食料科学委員会・農学委員会合同
CIGR分科会



CIGR

International Commission of Agricultural and Biosystems Engineering
Commission Internationale du Génie Rural : 国際農業工学会

沿革

1930年8月5日にヨーロッパ（ベルギー）で設立。

その後、北米、オセアニア、中南米、アジア、アフリカ諸国が参加。

農業工学の全分野を包括する唯一の世界的学術団体として活動を展開

目的

農業工学および関連する科学技術を通じて、農業食料生産および自然資源の保全、さらに人類の生存と自然環境との調和に貢献

組織

会長(President): 1名, 任期2年

総会(General Assembly): 2年に1回開催

理事会(Executive Board): 17名, 毎年1回開催

執行役員会(Presidium): 5名, 毎年2回開催

本部事務局長(Secretary-General): 1名, 任期4年

テクニカルセクション(TS)とワーキンググループ(WG)

TS I: 土地と水, TS II: 施設と環境

TS III: 植物栽培, TS IV: 農業におけるエネルギー

TS V: システム管理, TS VI: バイオプロセス

TS VII: 情報技術

WG1: 高温気候での動物飼育, WG2: 牛舎,

WG3: 大学の農業工学カリキュラムの調和,

WG4: 農村景観の保全と価値創出,

WG5: 農業プロセスと農産物の画像解析,

WG6: 食の安全, WG7: 流通, WG8: 精密航空アプリケーション,

WG9: 植物工場とインテリジェント温室,

WG10: 機能性健康食品と栄養,

WG11: 農村開発と文化遺産の保存,

WG12: 人工知能とデータサイエンス

加盟機関

会員資格: 農業工学に関する

国際学術研究団体, 各国/地域学術研究団体

会員数: 33団体, 会員国数: 96カ国

開催実績

世界大会(World Congress)と国際会議(International Conference)

を交互にそれぞれ4年毎に開催。

総会はWorld CongressとInternational Conferenceの際に2年毎に開催。

2024年(IC, Jeju, 韓国)

2022年(WC, Kyoto, 日本)

2021年(IC, Quebec City, カナダ)

2020年開催予定であったがCOVID-19

のため延期し, オンライン開催

2018年(WC, Antalya, トルコ)

2016年(IC, Aarhus, デンマーク)

2014年(WC, Beijing, 中国)

社会への貢献

我が国の農業工学分野でのプレゼンスと研究開発における貢献をアピールするため、日本学術会議CIGR分科会ではCIGRで開催する国際会議や部会などの会議を招致している。また、学会事務局と事務局長等を定期的に務めている。

2023-2024年、二宮正士（東京大学名誉教授）が就任している。

また、水稻を対象にしたスマート農業技術の開発・普及に対する支援、さらに欧米諸国に対しては農業ロボット技術の情報提供を積極的に行うことで、我が国の高度な科学技術が世界の農業食料生産技術の進展に貢献している。

第6回CIGR国際会議

概要: <https://www.cigr.org/node/855>